



11月の学校経営 VISION



大志にいどみ 活気あふれる わが母校こそ わが誇り ~地域に誇れる一流の吉岡中学校~

よく学ぶ生徒 (知)

心豊かな生徒 (徳)

健康でたくましい生徒 (体)

11月の学校経営の重点 ○学校・学年・学級経営の見直しと教育相談を活用しての指導支援の充実

11月の生徒指導重点目標

○進路指導 (指導内容) ○教育相談 ○学級経営の見直し ○学習への真剣な取組
学級活動の充実 個別指導 係活動の再確認 テストへの取組

今月の留意点

1 前期の教育活動の見直し

(4月からの7カ月間の教育活動を振り返り、残り5カ月の取組を考える)

- ・学校、学年、学級経営案、自己評価シートをこの時期に読みなおし、「既に達成できたこと」、「できつつあること」、「不十分であること」に分類し、課題を把握する。
- ・「できつつあること」、「不十分であること」(課題)を達成するための具体的な取組(戦略)を考える。

達成状況の確認と目標の見直し

2 吉中の「新たな伝統作り」のための取組の徹底

- ・学習ルール「よしおか」の徹底
- ・チャイムで授業開始
- ・無言清掃 生徒とともに汗をかく。
- ・無言整列 生徒主体の活動を見守り支援する。
- ・元気な挨拶と返事 大人が手本となって。
- ・下校指導を行い、4:30完全下校を守らせる。

守らせること、支援することの確認と徹底

3 生徒一人一人に応じた指導支援

(教育相談を活用し、一人一人の理解を深め、具体的な指導支援を行う)

- ・生徒のよい面、努力している面は大いに褒め、自信をもたせる。
- ・生徒が直面している課題や悩みについては、生徒の立場・親の立場を想定して支援する。
- ・3年生の進路相談は、生徒、保護者の考えをよく聞き、生徒が意欲をもって受験(受験)勉強に取り組むことができるよう指導支援する。
- ・高校受験に関する情報は生徒、保護者に提供し、最終的に生徒が自己の進学先を決定することができるよう指導支援する。

自尊感情を育む

4 中間テスト(11月16日、17日)の取組の徹底(計画的に取り組ませる)

- ・前期定期テストの結果を踏まえて、具体的な目標と目標達成のための綿密な計画を立てさせる。
- ・「教師は授業で勝負する」ことを再確認する。
- ・生徒が「わかった!」、「おもしろい!」と目を輝かす授業を実施する。
- ・授業のねらいを明確にする。
- ・「見える」、「わかる」、「残る」指示を心がける。
- ・やさしい語りと指示を短くして生徒の心を掴む。ユーモアも織り交ぜる。
- ・授業に集中できない生徒にも粘り強く指導支援するとともに、必要に応じてチームを組んで指導支援する。

テストで学力を伸ばす